

令和4年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	学校課 学事担当
------	----------

事務事業名	外部人材活用事業		事業予算費目	
総合計画上の位置付け	政策	① ひとりひとりが輝けるまちづくり	款	10 教育費
	基本目標	1-2 心豊かなひとづくり	項	1 教育総務費
	基本施策	1-2-1 学校教育の充実	目	3 教育指導費
	主要施策	1-2-1-2 学校教育の充実	事業	11 外部人材活用事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	市内の小・中学校に在籍する児童生徒の成長を支えるために、外部人材を活用して特別授業を行う事で、児童生徒の知識や技能等の習得を図るとともに、自主性・創造性・社会性等の豊かな人間性を育むことを目的とする。	事業の内容	通常授業のほかに、様々な分野の専門的な技術や知識を持った方や各地域の方等から特別授業を受けて新しい学び体験の授業を実施している。
-------	--	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位		実績 R3	実績 R4	目標 R5	目標 R6
	市内小・中学校	校	目標		13	13	13
	指標の説明 特別授業実施校		実績		13		
関連事業費	事業費		R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算	市民一人あたりのコスト	
	財源内訳	事業費	0	3,790,898	7,000,000	R3	0
		国県支出金		1,844,000	3,500,000	R4	105
		地方債				各年度4月1日現在の人口	
		利用者負担・その他				R3	36,670
一般財源		1,946,898	3,500,000	R4	36,124		

■評価（CHECK）

事業の方向性	○	拡 充	縮小して継続	判定理由	児童生徒は講師の一流の技・知識や人物に接することにより、学びを深め、大きな感動を得るとともに、自分の生き方や将来を考える、またとない機会となっている。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
		現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	子供達の学習の充実のために、現在講師リストに登録ができていない講師の周知徹底を図るとともに、学校や個々の教員が求めている講師のニーズを把握し、新しい講師の発掘に努めることが重要であり、それぞれの教員が気軽に本事業を利用できるように働きかけていく必要がある。
今後の方向性	日常的に、授業に必要な場面で各地域の講師に授業を依頼できるよう体制を整備していく。そのうえで、中央で活躍する大きな感動を得ることができる特別講師の情報を集めて、厳選して招聘していく。